

## インドネシア人の間で台頭する日本での民泊人気

割石 俊介

### <訪日需要増に対応した日系各社の動き>

これまで何度か取り上げたことのあるインドネシア人の訪日旅行ブームですが、そうしたトレンドの中、JTBがインドネシアの旅行大手パノラマ・ツアー社と資本業務提携し、先日盛大なお披露目パーティーが行われました。個人旅行のみならずインセンティブ旅行など、ますます増加するインドネシア人旅行者の需要を取り込む上で戦略的な動きであり、今後の成長が期待されます。

訪日需要の高まりを受け、ANAも増便を決定、8月より羽田～ジャカルタ便が1日2便になります。ジャカルタに観光旅行で訪れる日本人の数はとても少ないので、日本人のほとんどがビジネス客、インドネシア人はほとんどが休暇旅行者、というコントラストがジャカルタ～日本便の特徴で、乗るたびにインドネシア人旅行者が増えているのを実感します。

### <ますます予約困難かつ割高になる日本のホテル>

2016年の訪日旅行者が過去最高の2,400万人を超え、日本政府は2020年に4,000万人を目指しているということですが、こうなってくると困るのがホテルです。筆者も日本に生活の拠点が無いため、帰国する際はホテルを利用することが多いのですが、特にここ2年ほど、ホテル代がどんどん高くなっているのを感じます。場合によっては適当な場所に予算内でホテルを見つけられない場合があります。

さらに、日本のホテルの慣行で困るのが、料金が部屋単位でなく人数単位のところが多いことです。ただでさえ値上がりが激しい中、家族で宿泊するとなるとかなりのコストになってしまいます。インドネシア人はまだまだ大家族が多いのですが、海外旅行の際も両親や親戚と行くことも多く、日本人よりもはるかに大人数の移動となりますので、ホテル探しには苦労しています。

### <インドネシア人お勧めのソリューションはAirbnb>

そこでインドネシア人の中で人気が出てきているのがAirbnb（エアビーアンドビー）です。日本で「民泊」として話題になっているアメリカ発のサービスです。筆者の勤務先のインドネシア人の同僚も「日本はホテル代が高く、部屋が狭くてインドネシア人の家族旅行には向かない。Airbnbを使ったら都心ではなかったが、割安で泊まることができた。また日本に行きたいが、もうホテルは使わないと思う。」と言っていました。また、別の同僚は「日本旅行でAirbnbを使ったら、なんと家にインド・ミー（インドネシアで最も人気のある即席麺）を用意してくれていた。日本人のホスピタリティというのはこういうことかと感動した。」と興奮気味に話していました。彼らの多くは日本旅行のリピーターですが、ホテルに泊まるのとは一味違う日本の体験を楽しんでいるようです。

同僚の勧めを受け、筆者も次回の一時帰国のために、アプリをスマホにインストールし予約をしました。ホテルより広く、キッチンも洗濯機もついていて、家族で使うのには便利そうです。一人当たりで考えると、料金はホテルよりかなり割安です。

アジアのアップーミドルの旅行需要を捉えるツールとして、大いに注目すべきサービスかと思えます。



(写真は広島の物件の事例。  
筆者のスクリーンショット) より)